令和4年度 吹田市保健所運営協議会

1 開催日時

令和4年（2022年）7月15日（金） 午後2時から3時30分まで

2 開催方法

WEB（Zoom）開催

3 出席委員

岡村 俊子委員 北本 恒雄委員 小竹 昌美委員 土井 有羽子委員

古川 國久委員 三木 秀治委員 御前 治委員 三谷 一裕委員

4 欠席委員

磯 博康委員 杉本 良一委員 高野 敏弘委員

5 市出席者

保健所長 柴田敏之

健康医療部次長兼保健医療総務室長 岡本太郎

保健医療総務室参事 濱本利美

保健医療総務室参事 古田彰子

保健医療総務室参事 新木知宏

健康医療部総括参事兼地域保健課課長事務取扱 松林恵介

健康医療部総括参事 中村忠司

地域保健課参事 山野由理子

地域保健課参事 村井大介

地域保健課参事 坂原秀昭

衛生管理課長 笹田眞由子

衛生管理課参事 吉田直志

成人保健課長 村山靖子

母子保健課長 紙谷昌明

母子保健課参事 久本利恵

地域保健課主幹 林美奈子

地域保健課主幹 嶋尾美貴子

保健医療総務室主査 岡野沙和

衛生管理課主査 西村麻紀

6 案件

- (1) 吹田市保健所の運営について
- (2) 吹田市保健所における新型コロナウイルス感染症に対する取組について
- (3) 食品衛生事業について
- (4) その他

7 議事の概要 別紙のとおり

開会 午後2時

○事務局

ただいまから、令和4年度吹田市保健所運営協議会を開催させていただきます。

委員の皆様におかれましては、御多忙な中、御出席いただきありがとうございます。

今回も昨年につき、オンライン会議にて進めてまいりたいと思っております。

それでは、開会にあたり、保健所長の柴田より御挨拶を申し上げます。

—柴田所長 挨拶—

○事務局

はじめに、このたび、新たに就任されました3名の方を御報告させていただきます。

資料1の委員名簿を御覧いただきたいと思っております。

2番、吹田市薬剤師会会長、岡村委員に御就任いただきました。4番、大阪府助産師会吹田班班長、小竹委員に御就任いただきました。6番、大阪府吹田警察署署長、高野委員に御就任いただきました。

本日は、1番の磯委員、5番の杉本委員、6番の高野委員の3名の委員から事前に御欠席の連絡をいただいております。

本日の会議は、委員11名中8名の出席をいただいておりますので、本協議会規則第4条第2項の規定に基づく条件を満たしておりますので、本会議は有効に成立しておりますことを御報告いたします。

それでは、次に次第2、会長、副会長の選任に入らせていただきます。

本協議会規則第3条の規定により、正副会長の選任につきましては、委員の互選になっております。どなたか会長の推薦等はございませんでしょうか。

○委員

会長には、吹田市医師会の御前委員がよいと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

ただいま、会長に御前委員との推薦がありました。これに賛成の方は挙手願います。

(挙手あり)

○事務局

全員賛成で御前委員が会長に選任されました。

続きまして、副会長の選任に入らせていただきます。

どなたか副会長の推薦等はありませんでしょうか。

○委員

副会長には、千里金蘭大学の土井委員がよろしいかと思えます。

○事務局

ただいま、副会長に土井委員との推薦がありました。これに賛成の方は挙手願います。

(挙手あり)

○事務局

全員賛成で土井委員が副会長に選任されました。

それでは、ただいま選任されました正副会長から、一言ずつ御挨拶をいただきたいと思ひます。

○会長

吹田市医師会の御前でございます。ただいま会長に選任していただきました。僭越ながら会長を務めさせていただきたいと思ひます。

御存じのようにコロナが急速に感染拡大しており、保健所の業務も増加していると思ひますが、本日、運営協議会、限られた時間でございますが、活発な御討議をお願いしたいと思ひますので、何とぞよろしくお願ひいたします。

○副会長

千里金蘭大学の土井です。副会長に選任いただきありがとうございます。また会長と一緒に、皆さんの御意見を活発にいただき、御協力いただきながら、この委員会が有意義になりますように努めてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○事務局

それでは、本協議会規則第4条の規定により、議長は御前会長をお願いしたいと思ひます。御前会長、よろしくお願ひいたします。

○会長

それでは、議事を進めてまいります。まず事務局に確認ですが、本日、傍聴の希望の

方はおられますか。

○事務局

傍聴の希望はおられません。

○会長

それでは、早速、議事に入りたいと思います。

議事1「吹田市保健所の運営について」、事務局から説明をしていただきたいと思
います。よろしく願いいたします。

—資料4に沿って説明—

○会長

今、主要事業の概要に沿って、御説明いただきました。

コロナの感染症自体については、次の議事でお話していただければと思いますが、コロ
ナの感染症のその他の業務に対する影響についてお聞きしたいです。

例えば、24ページを見ていただきますと、飲食店の営業に対するカンピロバクター
の指導件数が2年度からかなり減っています。それと、23ページを見ていただきます
と、精神保健福祉相談の件数が2年度からかなり増えてきています。これらは、コロナ
感染症の影響が大きかったのでしょうか。

○事務局

御指摘のとおり全事業に関して影響がございます。コロナが流行するたびに、対面の事業の減少、並びに保健所の職員の全所体制によるコロナ業務の応援について、かなり人手が割かれており、その影響もあって、特に監視対面、訪問系の件数についてはこの2年ほどは大きく減っております。

○会長

様々な面でコロナというのは、我々の社会生活に対しても影響を与えているのと同時に、保健所の業務にも影響が出ていることではないかと思えます。

他に何か御質問等はありませんでしょうか。

○委員

難病対策についてですが、小児の在宅療養児への歯科医師会からの支援を吹田市と一緒に在宅訪問児歯科訪問健診という形でさせていただいていますが、高齢者等に比べて、まだまだ件数が少ないと感じています。ぜひとも情報提供をしていただきまして、また、医療ケアが必要なお子さん等に関しましては、当会で対応させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○会長

難病で在宅の方、主に児童に関しまして、今後の見通しや方策について、事務局から何かございませんか。

○事務局

今年度から保健センターが成人保健課と母子保健課に分かれておりますので、旧保健センターとして申し上げます。

小児慢性特定疾病児等における在宅医療で、在宅医療が必要なお子さん等につきましては、在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業等で歯科医師会の先生方にも御協力をいただいているところですが、保健師等が訪問等で歯科の保健についても、その必要性については、啓発を行い、訪問歯科健康診査におつなぎしているところです。なかなか往診していただく先生方も少ないということがありますので、今後また御協力いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○委員

ぜひとも訪問の健診は積極的に参画させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いします。

○会長

それでは、議事2「吹田市保健所における新型コロナウイルス感染症に対する取組について」に移らせていただきます。

それでは、事務局から説明をよろしく願いいたします。

—資料6に沿って説明—

○会長

数名の方にコロナ感染に対する取組ということでお話していただきました。医師会と

しては、沢山お伝えしたいことはありますが、まずは委員の方々の御意見を聞きたいと思います。

○委員

今、お産はしていませんが、新生児訪問に行かせていただいたら、やはり上の子供から感染した母親であったり、新生児にまでコロナの陽性者が出ていたりしておりますので、訪問のときも感染対策を心がけております。

子どもの接種率が、吹田市は7%ほどで、学校や保育施設における接種について、保健所からどのようなアプローチをされているのかお聞きしたいです。

○会長

例えば、幼稚園、保育園や小学校低学年も含めてですが、保健所から医療機関へのアプローチというのは、今どのようになっておられるのでしょうか。

○事務局

小児の接種につきましては、特に教育委員会とは連携ができておらず、接種の勧奨は、行えていない状況でございます。

対象者全員には毎月、個別で接種券の発送をさせていただいて、ホームページ等で接種の勧奨をしている状況でございます。

○会長

ワクチンだけではなく、教育機関へのアプローチは、保健所としてはまだ動いておら

れない状況ということでしょうか。

○事務局

教育委員会、保育所や幼稚園に関しては、初めは施設調査、疫学調査をして濃厚接触者の特定等の取組を行っていましたが、今年1月の時点でオミクロン株が発生し、そこで急激に感染者数が増えたことによって、全国的に詳しい調査は行わないという対応になっています。

一方で、先日、感染症グループと公立の保育園、幼稚園で阪大を中心とした市内の感染対策チームを交えて、感染対策をどうやっていくかといった感染対策向上の取組は今後も継続して実施していく予定としております。

○会長

何か御質問がございましたら、よろしく申し上げます。

○委員

沢山お聞きしたいことがございますが、まず1つは、第6波のときは150名ぐらいをピークと考えると、対策を立てておられたら、実際は597名でした。今の増加の仕方だと、来週にも597名を超すだろうと思うのですが、今のところ、最高はどのくらいと予想されていますか。

○事務局

昔は厚生労働省が、どれくらいを予測するかというグラフを出していたのを皆さんも

御存じかと思います。最近は、国レベルでもそういった予測を出していないため、全く予測はつかないのですが、肌感覚では1,000人ぐらいまでは上がっていくのではないかと考えています。当たるかどうかは、不明です。

○委員

それから、今度のワクチンの配布物で患者さんが、クーポンと一緒に送られてきた書類を見ると最初に「この後にクーポンが送られてきます」という書き方をしてされているので、一緒にクーポンが入っているとは思わなかったという話があるのですが、クーポンと書類とが一緒に入っている前提で文章をつくられたのでしょうか。

○事務局

正しくは接種券なのですが、当初は封筒にクーポンと表示になっている時期がございまして、基本は接種券と予診票は、全部セットでお送りさせていただいております。

○委員

封筒とともに、1枚の紙と一緒に配られておりまして、それを読んだら、接種券はまた後から送られてくるという内容で、まさかこの中に接種券が入っているとは思わず、捨てようとしてしまったという方が、数が少ないですけどおられますので、文章をもう少し検討していただけたらと思います。

○事務局

御指摘いただいた部分について内容をもう一度、確認させていただいて、改善できる

ところはしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○会長

社会福祉協議会では、特に高齢者の方と接する機会もありますが、こういう方々から御意見等がございましたらお願いいたします。

○委員

コロナ禍で地域に入っていくのは、なかなか大変な時期です。ですから、電話連絡等の話だけで、我々、社会福祉協議会の職員は、医療的なことについては、お医者さんにお任せしたとしても、その地域の悩み事自体を直接会ってお話するという機会が非常に少なくなっております。一日でも早くコロナ禍が終わればよいと思っておりますが、第7波が今後出てくるということで、これからの地域福祉の活動について、どうするかというのは、今の検討課題です。

○会長

なかなかお会いする機会も減っているということですね。飲食業もかなり不況だとは思いますが、何か問題点等がございましたら、よろしく願いいたします。

○委員

私の管轄の中では、事業所が多いのですが、割に変化はないです。今までどおりの対策がいいのか、ほかに対策をしたほうが良いのか分かっていない状態だと思います。

○会長

事業所の方でしたら、例えば従業員の方が感染されたり、従業員の家族の方が感染されたりということが起こってくるかと思えます。そういった対策も保健所から発信していただければと思います。よろしく願いいたします。

コロナに関しまして、何か御質問や御意見等はございませんでしょうか。

○副会長

本学看護学部の学生は400名ほどいますが、第7波といわれるものが始まる前から、学生の濃厚接触者や陽性者が増えておりまして、本当に小さい縮図といいますか、感染の広がりがいち早く分かります。現在、急速に増えている状態ですので、先ほど委員がおっしゃっていましたが、第6波より多くなると思いますので、吹田市保健所はすごく大変だと思いますが、できることがあればみんなで協力しながら進めていければと思っています。

○会長

第6波のときは、先ほどの事業報告の中でも書いておられましたが、かなり他部署からも応援をいただいていたとありますね。先ほどの事務局のお話では、ひょっとしたら一日1,000人を超えるのではないかという御意見がありました。今後の第7波に、これからはどのような体制で臨んでいこうと考えられていますか。一番必要なのはマンパワーだと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

保健所の体制ですが、今年度に入りまして、事務処理センターと委託契約を進めており、一定程度、他部署の応援なしで進める体制はできてはいますが、やはり陽性者が1,000人近くまで増えますと、なかなか対応が難しく、そうなったときに保健所全所体制、さらに他部署からの応援が必要になりますので、今もその取組を進めながら、来週以降に備えているところでございます。

○会長

医師会の会長としての立場ですと、私のクリニックでインフルエンザの女の子がいました。ひょっとしたら、ツインデミックといえますか、コロナとインフルエンザがこれから同時に流行るのではないかと、ますます医療体制が心配と考えております。第7波、これからどうなるか分かりませんが、このまますぐに終息するとはとても思えませんので、これからピークを迎えるのではないかと思います。御協力や御支援をよろしくお願いしたいと思います。ほかにコロナに関しまして何かございませんか。

○委員

薬局では、抗原検査キットがよく売れてきておりまして、ちょっと品薄気味になってきております。

6月は、購入される方が少なかったのですが、急拡大してきたということで、急に毎日、何人もの方が購入されてくるようになってきています。発熱の方もいらっしゃって、熱中症なのか、普通の風邪なのか、コロナなのか、見分けがつかないため、「発熱外来に行ってください」、「薬局での抗原検査キットの購入で判断はできません」というふうに、受診の話をしております。

救急車も30分以上、待っているとお聞きしております。コロナの方は、そんなに急激に悪化しないかもしれませんが、熱中症の患者さんは、30分待っていたら悪化する

のではないかと心配しております。

○委員

第6波におきまして、今はかかりつけ医でのコロナワクチンの接種が示されているようですが、第7波が第6波を追い越すようなことであれば、歯科医師会といたしましても大阪府歯科医師会を通じまして、大規模接種会場等による歯科医師によるワクチン接種を協力させていただきます。また、大阪府歯科医師会を通じまして、地区歯科医師会のほうに通知があると思いますので、その際には御協力させていただきたいと考えております。

歯科診療所の施設でのクラスター発生は、各個人の先生がなったというお話はありますが、コロナウイルス発生時より0件でございます。以上報告させていただきます。

○委員長

今後も感染予防に努めていただきたいと思います。

それでは、引き続き3番に移りたいと思います。

議事3「食品衛生事業について」、事務局から御説明をよろしく願いいたします。

—資料7に沿って説明—

○会長

食品衛生事業についての御報告ということでございました。先ほど、お話の中に出てきましたが、若い人が腹痛で下痢して受診された際に、「昨日、鶏の刺身を食べなかつ

たですか」と尋ねますと、約半数が該当しています。カンピロバクターの感染が結構多いというのは事実でございます。

時間も迫ってまいりました、スモークフリーの取組について、資料4の最終ページに、リーフレットが入っておりますので、それを見ていただきながら、事務局から説明をよろしくお願いいたします。

—資料4に沿って説明—

○会長

吹田市は全国平均、大阪府平均に比べて喫煙者の数は少ないのでしょうか。

○事務局

全国、大阪府に比べましても吹田市は市民意識調査の結果になりますが、喫煙率が11%程度ということで、国や府に比べると若干低いということになっております。

○会長

最近、喫煙場所が減ってきておりますが、商工会議所ではどうでしょうか。

○委員

私どもの会社は、全面禁煙で外に1か所だけ喫煙所がありますが、禁煙奨励金を出して、違反した場合は倍返しというルールにしています。

○会長

保健所にとっても心強いお言葉です。

それでは、事務局から本日の報告事項、何かございませんでしょうか。

○事務局

特にございません。

○会長

それでは、本日の議事全般を通しまして、委員の皆様方から何か御意見や御質問等はありませんでしょうか。

○委員

「食品衛生事業」で説明のあった施設で起こった食中毒は、発生した施設は1か所だけだったのですね。他の施設は同じ工場から給食を受けていても、調理法がよかったから集団感染をしなかったという解釈でいいですか。

○事務局

おっしゃるとおりです。本社工場から複数の施設には行きましたが、発生したのはそこだけでした。なので、その施設での調理工程に何か問題があったのではないかと推察をしております。

○会長

今日のお話にありましたように、食中毒、これからますます増えてくる時期でございますので、コロナや、先ほども申しましたが、今年の冬はインフルエンザも流行するという予測が立てられておりますので、委員の方々、御自身の御健康もくれぐれもご憂慮いただきたいと思います。

それでは、委員の方々、本日はどうもありがとうございました。これで閉会させていただきます。

閉会 午後 3 時 2 4 分